

報道関係各位

松尾芭蕉の旅を追体験「奥の細道を訪ねて」シリーズ 2012年10月スタートツアー 好評発売中

～全長約2,400kmの旅路を全行程専属の歴史講師と一緒に巡り、ひと味違う解説で旅を演出～

クラブツーリズム株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:岡本邦夫、以下クラブツーリズム)は、俳聖・松尾芭蕉の足跡をたどる旅「奥の細道を訪ねて」シリーズの2012年10月スタートツアーを販売し、大変ご好評頂いております。

このツアーは東京・深川から岐阜県・大垣までの約2,400キロにも及ぶ、松尾芭蕉が歩いたゆかりの地を、15回に分け、約2年半～3年かけてじっくり巡る長期のシリーズで、1999年から始まった人気のツアーです。毎回、専属の歴史講師が同行するツアーとなっているため、回を重ねるごとに歴史や俳句を学べ、芭蕉の旅を追体験しながら芭蕉の気持ちになって俳句を詠むなど、自分なりの楽しみを見つけられるのも魅力のひとつです。また、各回で複数の出発日を設定しているため、ご都合に合わせて参加しやすいツアーとなっています。



芭蕉の旅の最終地点・大垣にて



専属の歴史講師がわかりやすく解説

●専属の歴史講師が同行し、新たな気づきや発見に出会えるツアー

全行程に専属の歴史講師が同行することで、歴史の奥深さに気づき、新たな切り口で歴史を見る面白さに出会えるツアーとなっています。また、講師の説明がよく聞こえるガイドングレシーバーの無料貸し出しサービスや、見学箇所の解説・見どころを掲載したオリジナル資料も差し上げていますので、ツアーの見どころを見逃すことなくお楽しみ頂けます。

●参加者全員に旅の記録帳を贈呈。全行程参加者には記念品と認定証もプレゼント

ツアーにご参加いただく方全員に、旅の思い出が残せる「クラブツーリズムオリジナル 旅の記録帳」を贈呈致します。更に、全15回の行程をすべて巡った方には、記念品と認定証をプレゼント致します。回を重ねるごとに自然と仲間の輪も広がり、ツアーの最後には旅の充実感や仲間との達成感を味わうことができるこのツアーは、参加者に大変ご好評頂いております。

●最終回では「奥の細道」原本を閲覧可能*

ツアーの最終回では、芭蕉とゆかりの深い西村家にて、松尾芭蕉が記した「奥の細道」原本をご覧頂けます。全行程をすべて巡った最終回に実際の芭蕉の原本を閲覧することで、芭蕉の旅をより味わい深いものとしてお楽しみ頂けます。(※個人の所有物のため都合によりご覧頂けない場合もございます)

クラブツーリズムは、今後も、達成感、感動を味わうことができ、旅仲間との絆も深められる「テーマのある旅」を、積極的に展開してまいります。

◆報道関係のお問合せ先

株式会社プラップ ジャパン クラブツーリズム広報担当:平井 隆介、菊池 洋平、中村 由帆

TEL:03-4580-9105 FAX:03-4580-9131 E-mail: club-tourism@ml.prap.co.jp

クラブツーリズム株式会社 広報担当:田中 貴、木村 佳世、吉田 孝行

TEL:03-5323-6875 (月～金 9:15～17:30/土日祝除く) FAX:03-5323-6999 E-mail: ctpr@club-tourism.co.jp

<「奥の細道」全行程マップ>



1. 「奥の細道を訪ねて」シリーズツアー日程

	行程	出発日
①	旅立ちの第一歩 「深川から千住まで」	2012年10月30日、11月1日 (JR両国駅 現地集合)
②	室の八島を訪ねて 「草加から大神神社まで」	2012年11月25日、30日 (新宿・上野発) 2012年11月11日、13日 (横浜発) 2012年11月14日、17日 (川越・さいたま新都心発)
③	日光に点在する句碑を訪ねて 「今宮神社より日光まで」	2012年12月9日、14日 (新宿・上野発) 2012年12月16日、19日 (横浜発) 2012年12月12日、15日 (川越・さいたま新都心発)

※下記詳細は、2013年1月発行の「俳聖 松尾芭蕉の足跡をたどる旅」にて発表予定

- ・第4回目～6回目: 宿泊バスツアーを予定
- ・第7回目～15回目 (最終回): 新幹線、又は飛行機を利用した宿泊ツアーを予定

2. ツアーにご参加者いただいたお客様からの声

「奥の細道を訪ねて」に参加したきっかけは、もともと万葉集に興味があり歌枕の地を訪ねてみたいという思いからでした。先日、奥の細道8回で大伴家持終焉の地として知られる多賀城を訪れた時に、芭蕉や能因法師などの古人たちがこの地を訪れた時の心境に思いを馳せ、何ともいえない気持ちになりました。これからは東北を北上し「象潟」「山寺」を訪れるのが夫婦共々楽しみです。(神奈川県在住/60代・女性)

学生時代に『奥の細道』を読んで以来、「松尾芭蕉のたどった道をいつか歩いてみたい」という希望を抱いてきました。2004年に初めてこのツアーに参加し、実際に芭蕉の旅にたいする思いの深さを肌で感じることができました。これがきっかけで、『奥の細道を訪ねる旅』にすっかりハマってしまったのです。結果的に、私はこのツアーを第1回(深川)から第15回(大垣)まで合計3回も訪れてしまいました。私のココロの中の「『奥の細道』の世界をもっと知りたい!」というスイッチは、約6年間にわたりONのままだったということです。まさに奥が深い細道。それほど『奥の細道を訪ねる旅』は、私の人生にとってなくてはならない存在になっていました。皆様も、この壮大な芭蕉の旅にぜひ参加されてみてください。夢中になれる何かにきっと出会えますよ。(埼玉県在住/60代・女性)

3. 「奥の細道を訪ねて」ツアー概要

第1回「深川から千住へ(日帰り)」(コース番号:03147-848)

- 出発日
2012年10月30日、11月1日
- 旅行代金(大人1名)
8,000円
- 出発地
JR両国駅
- ツアー行程
JR両国駅…深川芭蕉記念館(旅立ちの句碑)…芭蕉稲荷(芭蕉庵跡)…芭蕉庵史跡展望庭園(芭蕉像)…臨川寺(芭蕉由緒の碑)…清澄庭園(芭蕉句碑)…<芭蕉句碑の散歩道>…採茶庵跡(芭蕉が「奥の細道」の出立直前まで住んでいた場所)…高橋〜<千住まで芭蕉が辿った水路をクルージング(船内で芭蕉講座を行う予定)>〜千住…千住大橋公園(奥の細道 矢立初めの碑)…千住大橋駅
- ポイント
・芭蕉の旅の出発地点・深川にて、数多く残る芭蕉ゆかりの史跡を見学
・特別貸切船で深川から千住へ、船内では芭蕉講座も
・名物「深川めし弁当」の昼食付き
・参加者全員に「奥の細道」クリアファイルを進呈

第2回「草加から大神神社へ(日帰り)」

- 出発日・出発地
2012年11月25日、30日／新宿、上野発(コース番号:03132-848)
2012年11月11日、13日／横浜発(コース番号:03162-848)
2012年11月14日、17日／川越、さいたま新都心発(コース番号:03152-848)
- 旅行代金(大人1名)
9,000円
- ツアー行程
各地発＝草加・おせん公園(草加煎餅発祥の地／煎餅のおやつ)＝札幌河岸公園(芭蕉像－草加の松原－百代橋)＝春日部・東陽寺(「奥の細道」の一日目に宿泊したと伝えられる寺を車窓から見学)＝小湊観音院＝野木神社＝間々田・泉龍寺(句碑)＝喜沢の追分＝惣社・大神神社(室の八島・大和の大三輪神社の分霊を奉祀し創立)＝各地着
- ポイント
・歌枕の地「室の八島」を巡るコース

第3回「今宮神社より日光へ(日帰り)」

- 出発日・出発地
2012年12月9日、14日／新宿、上野発(コース番号:03133-848)
2012年12月16日、19日／横浜発(コース番号:03163-848)
2012年12月12日、15日／川越、さいたま新都心発(コース番号:03153-848)
- 旅行代金(大人1名)
10,000円
- ツアー行程
各地発＝<東北道>＝鹿沼・今宮神社＝鹿沼・光太寺(芭蕉一宿の地)＝日光二荒山神社(芭蕉句碑)＝安良沢小学校(「しばらくは滝に籠るや夏の初」句碑)＝裏見の滝(芭蕉が訪れた日光三名瀑のひとつ)＝西行戻り石＝<東北道>＝各地着
- ポイント
・二荒山神社や日光三名瀑のひとつ「裏見の滝」など、見応えのあるコース

※「奥の細道を訪ねて」ツアー

<http://www.club-t.com/theme/sports/aruku/theme/rekishi/kaido>

検索 ⇒ クラブツーリズム 奥の細道